

なぜ 英語が話せないの

<12>

「中、高校英語教師の八割は「英会話のできる先生養成」を厳密に言えば英語が話せない」を旨とし、目下いくつかのプロ（福田昇八・熊本大学教授）とプログラムを用意している。指摘がある。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を、毎週金曜日に開かれる年間四回開かれ、計百人近い

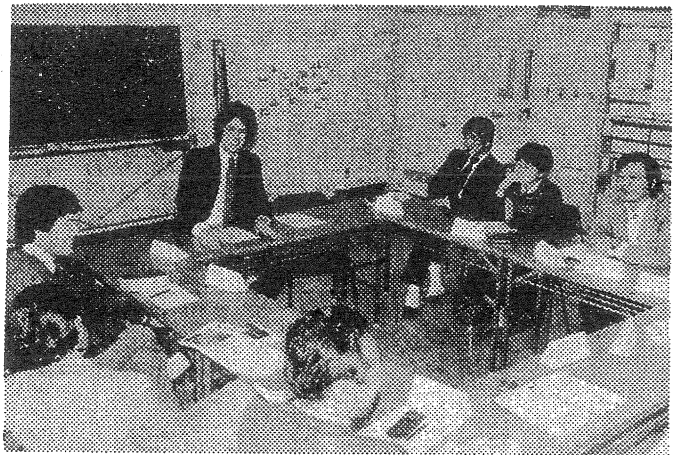
（まも）官井聡・三池高校教諭（まも）の場合、車で県教育センターに向かうため、早朝起床を余儀なくされ、学校を休む受講日の授業分は他の曜日にこなさなければならぬ。おまけに教育センターの授業は、午前九時半から午後四時半までビッシリ。持ち帰る宿題も多い。

断続研修で集中講義 20人が毎週一回、一年間

会話が苦手な先生たち。問題解決「断続研修」もその一つ。筑後、福岡、北九州、筑豊四地区四十五年から四年間をかけた中、高校の英語教師のために「教員集中訓練計画」（略称「T.C.」）を実施した県もある。

生が再教育を受けた計算になる。他に「短期研修」（四十五年）に開始。三日と四日のコースに分かれ、定員は各二十四人。受講する先生が目立つ反面、断続研修の方は「希望者が少な

く、競争率は約一・五倍。応募者の中から地区別のバランスを考慮して二十人を決めている」と話す。英語教師から敬遠されがちな断続研修だが、二十歳代から四十歳までの受講者たちは「厳し



外人教師から集中講義を受ける先生たち
(県教育センターで)

福岡県下でも悩むは深刻で、教師たちの質の改善は急務と見える。事態を重視した県教委員だから過去、二百二十人の先

「英会話に自信がな、思い切つて受講したが、教室を少しずつ成果が生かせるようになった」と話す。文部省は、四十七年から英語教師の能力向上などを目的に断続研修での具体的な学習内容を報告する。

◇ ◇ ◇